

大阪社会福祉士会 大阪北支部 研修案内 (H30.7.27)

子どもの貧困シリーズ No.4

「自立支援ホームから見えてくる子供の貧困

(講師：自立援助ホーム あらんの家 管理者 濱田進士 氏)」

自立援助ホームとは、義務教育を終えた15歳から20歳未満の子どものうち、児童養護施設等を退所したものの帰る場所がない、虐待や貧困等家庭の事情で自立が困難など安心して生活できる場所のない子どもたちが、働きながら自立に向けて共同生活する場です。

中学卒業や高校中退の後、就労のため児童養護施設を出た子どもたちのほか、児童自立支援施設からの退所者など、生活できる家庭がない青少年が入所します。児童福祉施設は18歳になると原則として退所しなければならないため、高校を卒業しても就職できなかつたり、家庭に戻れない青少年の就労と自立も支えます。

従来より児童虐待・いじめ・学級崩壊・少年犯罪などの子どもに関する問題が社会的関心と呼んでいましたが、近年はこれに加え、日本における子どもの貧困率が他の先進国よりも高い「レベルにある」という子どもの貧困の事実が指摘され、現代社会がいかに子どもたちにとって生きにくい時代であるかが明らかになっています。

内容：自立支援ホームから見えてくる子供の貧困

(子供の居場所作りや児童福祉施設の運営など)

講師：自立援助ホーム あらんの家 管理者 濱田進士 氏

日時：平成30年 7月27日(金) 19:00 ~ 21:00

場所：ドーンセンター 4階 中会議室1

大阪市中央区大手前 1-3-49 大阪府男女共同参画・青少年センター

費用：500円

申込：本申込用紙にて 06-7171-9018 へFAX、

または メール kitasibu2012@yahoo.co.jp までお申し込み下さい。

氏 名： _____ 所属支部： _____ 会員番号： _____

連絡先： _____

T E L： _____ E-mail： _____